

音楽と私

楽しい音楽を織り込んで

足立シニアアンサンブル 武田 宏子

1. 音楽との巡りあい

戦中生まれの間が、物心ついた時にラジオから流れる歌に夢中になることはごく自然の成り行き。松島トモ子、小鳩くるみ他童謡歌手がキラ星の如く居て、幼児の心に住み着いた。自分の成長と共に興味は1950～60年代にラジオやレコードから流れた洋楽ヒット・ポップス、アメリカン・ポップス、フレンチ・ポップス、ムード音楽、映画音楽、マンボ、ルンバ等々に移ってゆき、十代のまっさらな心のスポンジに沁み込んだ。

2. 楽器との巡りあい

私が子供のころは、ピアノを習えるのは大体が「医者の子」と相場が決まっていた。そして「いつの日かピアノを弾きたい」という夢が叶う日が突然訪れた。それはエレクトーンに姿を変えたものだったが。夫の転勤先、台北で。

帰国後、今度は長岡市への転勤。電柱を見て驚いた。「大正琴を始めませんか」という張り紙だらけ。ここで習わないのは人生の時間の損失と思い入門。エレクトーンは29歳から10年間携わり、アメリカ行きと共に止めた。大正琴は47歳～55歳の間続けた。

3. コーラスとの巡りあい

自分が自由に奏でられる楽器と言えば「喉」。小、中、高、職場、地域、アメリカ、長岡とコーラス部に所属し現在に至る。その間二人のオペラ歌手と一人のジャズ歌手に師事した。

今から18年前に「手話コーラス」を地元で立ち上げ、共に歌い遊び踊る、喜ばれるボランティア活動をしている。「歌声」活動も現在は同い年のギター伴奏者と組んで活動している。

4. TVとの巡りあい

ひょんな事から、TBS「うっちゃんなんちゃんの本ントコ」に出るようになったのが55歳の時。プリプリのコピバン「おばプリ」が誕生し、半年間TVに出て当時の日比谷公会堂で華々しいライブを敢行。生まれて初めてのベース演奏。現在に至る。

6年前姉妹団のロックバンド「キラ凛」を立ち上げた。60歳の時には、これまた縁があって、TBS日曜日の「さんまのカラクリTV」の替え歌コーナーに6年間出演。当時の歌は今でも大うけする。



5. 足立シニアアンサンブルとの巡りあい

57歳の時、当楽団の定演を観ていて、その座席上で「私はここに居てはいけない。向こう側に居なくては」と。すぐに電話して入団。現会長に手取り足取りでドラム奏法を教えてもらった。16年前に始めたオカリナに加え、ベースとドラムと「喉」という楽器は現在も健在である。

6. 自分へのご褒美との巡りあい

自分の還暦祝いとしてハワイホノルルマラソン10キロに参加。（足立シニアのK、Hさんと）65歳で中島みゆき「夜会」コンサートへ。

古希祝いとして昨年、町屋ホールにて「古希コンサート」を敢行。応援に来て下さった200名弱の友人知人に感謝。この時には強力な助っ人女性のお蔭で成功を収めることが出来た。つくづく過ぎた人生の時間の過ごし方を思う。

7. 織りなす糸との巡りあい

縦の糸は友人知人。横の私。織りなす糸はいつも我々を温めてくれる。楽しい音を織り込んで。まで来られたことに感謝いたします。

